

履修登録単位数制限の計算方法

履修登録単位数制限: 学期ごとに26単位・年間46単位

- ・ 前学期開講科目は、前学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 後学期開講科目は、後学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 1年間開講する科目(特別講義など通年科目)は、単位数を2分し、各学期の登録単位数としてカウントし、年間の単位数としてもカウントする。
- ・ 集中開講科目(時間割外科目)は、年間の単位数としてカウントする。

【計算例】

前学期科目 22単位を登録…A 前学期 : $A+C/2=23$ 単位

後学期科目 20単位を登録…B 後学期 : $B+C/2=21$ 単位

通年科目 2単位を登録…C 年間 : $(A+C/2)+(B+C/2)+D=46$ 単位

集中科目 2単位を登録…D

※この場合、各学期とも26単位を超えず、年間も46単位を超えていないので履修が認められる。

有料科目の納金方法

再履修した場合は、1科目あたり2,000円の再履修料が必要となる。再履修料の納金方法や納金期間については、前学期については6月に、後学期については12月にそれぞれ設けるので学生ポータルサイトまたは掲示板を確認すること。

※注意事項

- ・ 再履修とは一度履修した授業科目のうち、不合格(不可または未評価)になった授業科目を再度履修することをいう(他学科・他学部聴講した科目を再度履修する場合も同様)。
- ・ 履修登録する科目が再履修科目であるか学生ポータルサイトの成績台帳で確認すること。
- ・ 履修確定表には有料科目を表示する。
- ・ **在学中に納金額の不足が発覚した場合は、その時点で納金することを義務づける。**
- ・ 一度登録した再履修科目の削除は行えない。

3 履修登録を行うにあたり特に注意を要する授業科目

(1) 必修英語科目(英語・基礎英語・英会話)

この科目は、所属学部ごとにクラス分けの方法が異なる。履修については学科ガイダンス等を通じて説明するので確認すること。農学部と地域環境科学部で再履修する学生は、再履修クラス(Sクラス)を履修すること。

※ 原則としてクラス変更は認めない。

(2) スポーツ・レクリエーション(一)・(二)

この科目は履修人数に定員を定めている。**次の日程でクラス分けをするので、履修希望者は必ず出席すること。**

【世田谷キャンパス】: 第1回目の授業(桜丘アリーナ集合、上履き持参)

【厚木キャンパス】: 4月22日(金)(体育館集合、上履き持参)

なお、定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行う。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できる。

※ 履修する場合は、所属学科の授業のみ履修することができる。この場合も必ず第1回目の授業に出席し、授業担当者へ申し出ること。ただし、2年次以上の学生は所属学部のどの学科のクラスでも履修することができる。

(3) 卒業論文

卒業論文は、履修登録を行ったうえで、6月30日(水)までに「題目届」を提出すること。いずれかの手続きに不備があった場合には単位を修得できない。「題目届」は、5月中旬に配布する。

(4) 隔週開講授業科目

次に記載する授業科目は、2科目を隔週で組み合わせて開講する。履修登録にあたって2科目とも履修する場合には、両方の履修番号を開講時限欄に登録すること。

※ 1科目のみ履修する場合は、開講時限に履修番号を登録すること。

【大 学】

	隔週開講授業科目の組み合わせ	
農学2	農業実習(二)(農生コース)	／ 生物学実験(農生コース)
	農業実習(二)(園芸コース)	／ 生物学実験(園芸コース)
畜産2	化学実験	／ 生物学実験
セラピー2	生物学実験	／ 分野実験実習(一)
栄養3	栄養教育実習	／ 給食経営管理実習
森林2	測量実習	／ 森林学実験実習(三)
造園2	造園基礎演習(三)	／ 測量実習
開発2	農学基礎実験	／ 農業専門実習

(5) クラス分けのある授業科目

- ① クラス分けは、所属学科の在学年次の開講科目のみに適用される(クラス分けのある科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認すること)。
- ② 大学の学部共通授業科目時間割に大文字のA・B・C…でクラス分け表示がある場合は、オープン科目である。各自の時間割に合わせて選択し、受講すること。
- ③ 再履修、他学科・他学部聴講はクラスを選んで履修すること。
- ④ 教職課程の時間割に、大文字のA・Bでクラス分け表示がある場合は、クラスを選んで履修すること。
- ⑤ 学科指定のある科目は、自分の学科で履修すること(ただし低学年次配当科目については、クラスを選んで履修することができる)。

※ 世田谷・厚木の両キャンパス開講の講義科目は、学科指定のある科目を除き履修することができる。

(6) 他学科・他学部聴講

- ① 他学科・他学部聴講を希望する場合は、各学科の時間割を参照し、希望科目の履修番号を登録すること(クラス分けのある科目はクラスを選んで履修番号を登録すること)。
※ 所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学科・他学部聴講を認めない(9～10ページ参照)。
※ 実験・実習・演習科目は他学科・他学部聴講を認めない。
- ② 高学年次配当科目は履修できない。
- ③ 他学科聴講履修登録単位は、在学中30単位を上限とする。
※ 合否にかかわらず、履修登録した時点で単位数をカウントする。
- ④ 他学部聴講履修登録単位は、在学中30単位を上限とする。
※ 合否にかかわらず、履修登録した時点で単位数をカウントする。
- ⑤ 実験・実習・演習科目は、他学科・他学部聴講を認めない。
- ⑥ 栄養科学科(食品栄養学専攻及び管理栄養士専攻)「栄養士関係科目及び管理栄養士関係科目」の他学科・他学部・大学間聴講は一切認めない。
- ⑦ 学部共通科目の英語科目は、他学科聴講・他学部聴講を認めない。
- ⑧ 生産環境工学科「基礎数学」「応用数学」は、他学科・他学部聴講を認めない。

(7) その他、注意の必要な科目

- ① 農学部共通授業科目「中国語(一)・(二)、ドイツ語(一)・(二)フランス語(一)・(二)・スペイン語(一)・(二)」を農学部(農学科・畜産学科・バイオセラピー学科)の学生が履修する場合は、在学中、いずれかひとつの語学を選択して履修すること(在学中に複数の語学を選択することは認めない)。

- ② 農学部共通授業科目のうち1年次配当「農学原論、生物学、化学、日本国憲法、ボランティア論、選択英語(一)・(二)」、2年次配当「環境科学、選択英語(三)・(四)、中国語(一)・(二)、ドイツ語(一)・(二)、フランス語(一)・(二)、スペイン語(一)・(二)」、3年次配当「英会話(一)・(二)」を農学部(農学科・畜産学科・バイオセラピー学科)の学生が履修する場合、在学年次の科目は自学科・自クラスで開講する科目を履修すること。ただし、低学年次配当科目については、学科・クラスを選んで履修することができる。
- ③ 応用生物科学部共通授業科目「中国語・スペイン語」を応用生物科学部の学生が履修する場合は、いずれかを選択して履修すること(複数の語学を選択することは認めない)。
- ④ 地域環境科学部共通授業科目「ドイツ語・中国語」を地域環境科学部の学生が履修する場合は、いずれかを選択して履修すること(複数の語学を選択することは認めない)。
- ⑤ 前学期に履修登録した科目について単位を修得できなかった場合、後学期に同名科目を再度履修することは認めない。

(8) 同名科目

次の表は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧である。履修登録にあたっては以下の点に注意すること。

- ① 所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学科聴講、他学部聴講ができない。

【例】：生物応用化学科の学生は、バイオサイエンス学科の「細胞生物学」を履修できない。

→生物応用化学科は2年次に「細胞生物学」を開講するため。

- ② 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修を認めない。

【大 学】

科目名	学部	学科	学年
アイソトープ利用	応生学部	バイオ	3
	応生学部	化学	3
英会話(一)(二)	農学部	学部共通	3
	国際学部	学部共通	1
運動生理学	応生学部	栄養	3
	応生学部	管理	3
栄養学総論	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
栄養教育論(一)	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
栄養教育論(二)	応生学部	栄養	3
	応生学部	管理	3
栄養生理学	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
化学	農学部	学部共通	1
	応生学部	醸造	1
	環境学部	学部共通	1
	国際学部	開発	1
科学英語	農学部	学部共通	4
	応生学部	醸造	3
	応生学部	管理	4
	環境学部	森林	3
解剖生理学	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
家畜管理学	農学部	畜産	2
	農学部	セラピー	2
環境化学	応生学部	化学	2
	応生学部	醸造	3
機器分析学	応生学部	醸造	3
	応生学部	栄養	3
経済学	農学部	学部共通	1
	応生学部	学部共通	1
健康管理概論	応生学部	栄養	3
	応生学部	管理	3

科目名	学部	学科	学年
実験動物学	農学部	畜産	1
	応生学部	バイオ	3
社会福祉論	応生学部	栄養	3
	応生学部	管理	3
植物生理学	応生学部	バイオ	2
	応生学部	化学	2
食品衛生学	農学部	畜産	3
	応生学部	バイオ	3
	応生学部	化学	3
	応生学部	醸造	2
	応生学部	栄養	2
食品化学	応生学部	管理	2
	応生学部	醸造	1
食品加工学(一)	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
食品加工学(二)	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
食品学各論(一)	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
食品学各論(二)	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
食品学総論	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
食品機能学	応生学部	醸造	3
	応生学部	栄養	3
	応生学部	管理	3
食品工学	応生学部	化学	3
	応生学部	醸造	3
食品微生物学	農学部	畜産	2
	応生学部	醸造	2
	応生学部	栄養	1
食品物性学	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2

科目名	学部	学科	学年
公衆衛生学	応生学部	醸造	2
	応生学部	栄養	3
国際食料貿易論	国際学部	開発	3
	国際学部	ビジネス	2
細胞生物学	応生学部	バイオ	1
	応生学部	化学	2
資源生物論	農学部	農学	2
	応生学部	バイオ	3
生活環境概論	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
生体高分子化学	応生学部	バイオ	2
	応生学部	化学	3
生物学	農学部	学部共通	1
	応生学部	バイオ	1
	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	1
	環境学部	学部共通	1
生物統計学	農学部	畜産	3
	農学部	セラピー	2
生命倫理	農学部	学部共通	2
	応生学部	バイオ	1
	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	2
測量学	環境学部	森林	1
	環境学部	工学	2
中国語(一)(二)	農学部	学部共通	2
	応生学部	学部共通	1
	環境学部	学部共通	1
	国際学部	学部共通	1
調理学	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
天然物化学	応生学部	化学	2
	応生学部	醸造	3
ドイツ語(一)(二)	農学部	学部共通	2
	環境学部	学部共通	1
統計学	応生学部	バイオ	1
	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
	環境学部	森林	2
	環境学部	工学	2
動物遺伝学	農学部	畜産	1
	農学部	セラピー	1
動物細胞工学	農学部	畜産	3
	応生学部	バイオ	2
日本国憲法	農学部	学部共通	1
	応生学部	学部共通	1
	環境学部	学部共通	2
	国際学部	学部共通	1
日本農業論	国際学部	開発	1
	国際学部	経済	1

科目名	学部	学科	学年
生化学	農学部	畜産	1
	応生学部	バイオ	1
スペイン語(一)(二)	農学部	学部共通	2
	応生学部	学部共通	1
	国際学部	学部共通	1
生化学(一)(二)	応生学部	醸造	2
	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
無機化学	応生学部	バイオ	1
	応生学部	栄養	1
有機化学	応生学部	バイオ	1
	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
有機化学(一)	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	1
有機化学(二)	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	2
分析化学	応生学部	醸造	1
	応生学部	栄養	2
	応生学部	管理	2
農業経営学	農学部	農学	3
	国際学部	開発	2
	国際学部	経済	2
微生物学	応生学部	バイオ	2
	応生学部	化学	1
	応生学部	醸造	1
	応生学部	栄養	1
	応生学部	管理	1
ビジネス英語	農学部	学部共通	4
	国際学部	ビジネス	4
フランス語(一)(二)	農学部	学部共通	2
	国際学部	学部共通	1
分子遺伝学	応生学部	バイオ	3
	応生学部	化学	3
分子栄養学	応生学部	栄養	3
	応生学部	管理	4
分子生物学	農学部	畜産	4
	応生学部	化学	2
	応生学部	醸造	3
民俗学	応生学部	学部共通	2
	環境学部	森林	2